

◆家事代行サービスの一例

	ベアーズ (東京・中央区)	カジタク (東京・中央区)	ダスキン (大阪・吹田市)	ニチイ学館 (東京・千代田区)	セコム (東京・渋谷区)	ミニメイドサービス (東京・渋谷区)
提供地域	東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、京都、奈良	東京、神奈川(一部パック商品は全国)	全国	全国	全国	宮城、群馬、東京、千葉、神奈川、静岡、山梨、大阪、兵庫、福岡、熊本
特色プラン	1週間分の夕食をまとめて調理し、冷蔵・冷凍保存	特産野菜たっぷりメニューや、宿題をみる子育てサポート	水回りなど「ホテル並み」の徹底的な掃除。料理はなし	お墓参りの同行。最大約半額の「お試しプラン」も	約100種類の困りごとに対応。防犯契約で、留守中の郵送物回収	富裕層向け。整理、収納、片づけの新サービスも開始
問い合わせ	0120-552-445	0120-525-827	0120-100100	0120-212-295	0800-555-5555	0120-339-332

「家政婦さん、うちもお願い」

週一で月3万4000円 ■ 単身者の利用急増

家政婦を雇えるのは、テレビドラマの中だけの話と思っていたが、最近は手軽に頼める「家事代行サービス」が増えている。仕事のほか、炊事、洗濯、掃除……と、家事に追われていては自分の時間が持てない共働き世帯はもちろん、単身者や高齢者などにも使い勝手がいいプランが豊富にある。

(経済部 岩城 撰)



「ベアーズ」の利用者は、高齢者や単身者にも広がっている

2歳7か月の男児を抱える東京・目黒区下目黒の女性会社員(37)は「たまった家事で休日もクタクタ」とこぼす。

そこで、家事代行会社「ベアーズ」のサイトで、自分自身がしている家事の「月給」を診断したところ、「28万7791円」と出た。「こんなに頑張っていたのか。ちょっとは人に頼もう」と代行サービスをを使うことを決めた。

ベアーズでは、電話での相談以外に、東京・自由が丘に開いた業界初の窓口店舗で、対面で相談ができる。利用者の7割を占める「アラックス」コース(契約1年間)は、留守中の掃除などの家事も頼める。週1回・2時間、スタッ

フー1人で月約3万4000円(交通費含む)になる。

最初に自宅で社員と家事内容打ち合わせ。夕方から掃除や洗濯をして、それから子どもの帰宅を迎え、夕食を作って親に引き継ぐ——といったプランを決めていく。利用者

親孝行もお手伝い

「ニチイ学館」は、ヘルパーの資格を持つスタッフ1回・30分で3570円(回数、地域に限定あり)が、在宅介護のサービスに引き続いて、介護保険適用外の行為である、「介護する人の話し相手」や「家族への料理」もしてくる。と、子どもからの依頼が目高年齢者から、旅先の旅館

での入浴介助を頼まれることもあるそうだ。

などを購入でき、自分以外の人の贈り物にもできる。「ダスキン」のウリは水回りの水気をすべて拭き取るなどの徹底清掃だが、注文が急増しているのが、単身者世帯の掃除や布団干しなどだ。

部屋の片づけや収納もやってくれる「ミニメイドサービス」は、レギュラー料金が1回・2時間半で1万1655円。月額15万円以上も利用する客も多いという。

京王電鉄も沿線住民などに家事代行をしている。21日からは、買い物付き添いや、不在時の家事代行もする。

野村総合研究所の武田佳奈・主任コンサルタントは女性の需要だけに限定しても家事代行の将来市場は現在の約6倍の1720億円に膨らむと予測する。だが、国民生活センターには「掃除が期待外れだった」などの苦情も。家事代行の「フラオ グルッペ」(東京・渋谷区)を経営する生活評論家の沖幸子さんは「リピーター率などが一つの目安。細かな説明を行い信用できる業者を選んで」と話す。